

第 2 次二宮町環境基本計画後期実施計画
(令和 4 年度進捗状況一覧)

No.	基本 施策	取組み 事業等	事業内容	担当課	R04事業計画	R04事業実績	数値指標
1	1-1 吾 妻山の 保全と 魅力の 向上	①公園 等維持 管理運 営事業	自然環境の保全と観光拠点としての調和を図るため、施設や設備を充実させるための整備を行うとともに、動植物の生息状況に応じた公園管理を行う。	都市部 都市整 備課	・里山保全のため、園内の樹木等の維持管理作業を実施する。 ・山頂の眺望確保のため、剪定を実施する。	・来園者数は408,292人であった。 ・シルバー人材センターによる園内の樹木等の維持管理を適切に実施した。 ・山頂からの眺望確保のための剪定を実施した。	・来園者数
2	1-2 丘 陵地や 谷戸な どの保 全	①里山 再生育 成事業	里山の保全育成を図るとともに、災害による被害抑制につなげるため、身近な里山の手入れや間伐材の再利用を通して、ボランティアによる里山体験を促進する。	都市部 産業振 興課	・田植え体験学習、稲刈り体験学習、椎茸植菌教室の開催及び関連団体との情報交換等により里山保全の意識を高める。	・田植え体験学習（2園、58名参加）を6月17日に、稲刈り体験学習（3園、77名参加）を10月20日に、原木椎茸植菌教室（30名参加）を3月1日に実施した。 ・希望のあった幼稚園等に苗や米を配布した。	・事業参加者数
3	1-2 丘 陵地や 谷戸な どの保 全	②土地 改良事 業（農 道整 備）	農地の保全と地域農業の活性化を図るため、農道を整備する際にのり面の植生の回復を図るなど、自然環境に配慮した仕様を検討した上で、整備及び維持管理する。	都市部 産業振 興課	・近年、増加している大雨対策のための改良及び農道のり面の崩落防止修繕の実施により、里山保全へも配慮した取組を行う。	・町内の農道10ヶ所を整備修繕した。	・農道の整備・改良、修繕件数
4	1-2 丘 陵地や 谷戸な どの保 全	③ふれ あい農 園事業	農地の荒廃化防止のため、町が借りた農地を「特定農地貸付けに関する農地法等の特例に関する法律」に基づき農業委員会の承認を受けた上で、「二宮町ふれあい農園事業実施要綱」により、町民へ貸出しを行う。 (1区画20㎡、作付は野菜と草花)	都市部 産業振 興課	・農地の荒廃化防止の一助となるようふれあい農園の適正な維持管理をするとともに、利用者による適正な維持管理を促進する。	・農園の適正な維持管理に努め、全区画を利用者に貸し出した。 ・次年度の利用意向確認をする際に、共有部分の草刈等を促す通知を同封し、利用者に周知をした。	・区画数

評価					課題		対応	
達成状況評価					評価割合(100)		・シバザクラ園の維持管理は、公園スタッフ及び町民ボランティアで行っていたが、令和元年度からボランティアによる活動が休止となり、人手が不足している。 ・シバザクラも寿命である5年を経過し、シバザクラを良好に育てることが困難となっている。	
R01 目標値 350,000人	R02 目標値 350,000人	R03 目標値 350,000人	R04 目標値 350,000人	達成状況 評価 75	事業内容 評価 25			
				×	×			
R01 実績値 426,860人	R02 実績値 322,466人	R03 実績値 377,566人	R04 実績値 408,292人	事業 達成率 100%	事業内容 達成率 100%			
				達成状況 評価(A) 75%	事業内容 評価(B) 25%			
事業内容評価				総合評価(A) + (B)				
R01 事業内容評価	R02 事業内容評価	R03 事業内容評価	R04 事業内容評価	100%	A			
100%	100%	100%	100%					
達成状況評価					評価割合(100)			
R01 目標値 240人	R02 目標値 240人	R03 目標値 240人	R04 目標値 240人	達成状況 評価 50	事業内容 評価 50			
				×	×			
R01 実績値 110人	R02 実績値 0人	R03 実績値 63人	R04 実績値 165人	事業 達成率 69%	事業内容 達成率 100%			
				達成状況 評価(A) 34%	事業内容 評価(B) 50%			
事業内容評価				総合評価(A) + (B)				
R01 事業内容評価	R02 事業内容評価	R03 事業内容評価	R04 事業内容評価	84%	B			
100%	100%	100%	100%					
達成状況評価					評価割合(100)			
R01 目標値 5件	R02 目標値 5件	R03 目標値 5件	R04 目標値 5件	達成状況 評価 50	事業内容 評価 50			
				×	×			
R01 実績値 7件	R02 実績値 7件	R03 実績値 16件	R04 実績値 10件	事業 達成率 100%	事業内容 達成率 100%			
				達成状況 評価(A) 50%	事業内容 評価(B) 50%			
事業内容評価				総合評価(A) + (B)				
R01 事業内容評価	R02 事業内容評価	R03 事業内容評価	R04 事業内容評価	100%	A			
80%	100%	100%	100%					
達成状況評価					評価割合(100)			
R01 目標値 106区画	R02 目標値 106区画	R03 目標値 106区画	R04 目標値 106区画	達成状況 評価 75	事業内容 評価 25			
				×	×			
R01 実績値 104区画	R02 実績値 106区画	R03 実績値 106区画	R04 実績値 106区画	事業 達成率 100%	事業内容 達成率 100%			
				達成状況 評価(A) 75%	事業内容 評価(B) 25%			
事業内容評価				総合評価(A) + (B)				
R01 事業内容評価	R02 事業内容評価	R03 事業内容評価	R04 事業内容評価	100%	A			
100%	100%	100%	100%					
達成状況評価					評価割合(100)			
R01 目標値 106区画	R02 目標値 106区画	R03 目標値 106区画	R04 目標値 106区画	達成状況 評価 75	事業内容 評価 25			
				×	×			
R01 実績値 104区画	R02 実績値 106区画	R03 実績値 106区画	R04 実績値 106区画	事業 達成率 100%	事業内容 達成率 100%			
				達成状況 評価(A) 75%	事業内容 評価(B) 25%			
事業内容評価				総合評価(A) + (B)				
R01 事業内容評価	R02 事業内容評価	R03 事業内容評価	R04 事業内容評価	100%	A			
100%	100%	100%	100%					

					・シバザクラ園の維持管理は、公園スタッフ及び町民ボランティアで行っていたが、令和元年度からボランティアによる活動が休止となり、人手が不足している。		・シバザクラも寿命である5年を経過し、シバザクラを良好に育てることが困難となっている。	

・シバザクラ園を良好な状態に保つことが難しいため、維持管理を軽減することに加え、長期的に花木などが楽しめるエリアに変えていく必要がある。

・今後は花木の植替え等のリニューアルを検討していく。

・里山づくり推進協議会に新たな団体（構成員）を加えることによる事業負担の軽減、体験学習用地の場所や事業内容の見直しも含め検討する。

・大規模な修繕や整備・改良にあたっては、可能な限りにおいて自然環境に配慮した工法を選択できるよう計画的な管理を行うとともに、損傷が小さいうちに早期発見、対処することで、修繕を小規模化できるよう努める。

・遊休・荒廃農地対策の一環として、現行のふれあい農園の適切な維持管理に努める。

No.	基本 施策	取組み 事業等	事業内容	担当課	R04事業計画	R04事業実績	数値指標
5	1-2 丘陵地や谷戸などの保全	④遊休・荒廃農地対策事業	農業の担い手不足により増加している遊休・荒廃農地の解消と農地の保全のため、新規就農者や販売を視野に入れた本格的な農業に取り組む「かながわ農業サポーター」など、新たな担い手の受け入れを積極的に行う。	農業委員会事務局	・遊休荒廃農地の解消を図るため、農地中間管理機構等を活用し、新規就農者や経営規模拡大の意向がある農業者への更なる利用集積を推進する。 ・二宮町遊休荒廃農地対策事業補助金の活用により解消を支援する。	・農地利用状況調査結果を基に遊休地の所有者に対し、農地中間管理機構の活用を促すとともに、要件緩和した二宮町遊休荒廃農地対策事業補助金のPRを実施した。（補助金活用件数3件0.24ha）	・遊休・荒廃農地の解消面積
6	1-2 丘陵地や谷戸などの保全	⑤緑の基本計画の推進	緑地率を30%、公園等整備面積43haを目標とする「緑の基本計画」を推進するため、指定区域内の山林等所有者への自然保護奨励金の交付（県事業）や「二宮町緑の保全及び緑化の推進に関する要綱」に基づく保存樹木の指定により松等の緑の保全に努める。	都市部都市整備課	・県と連携し、保安林等所有者に自然環境（里山）の保全の推進を図る。 ・保存樹木の指定及び保全に努める。	・自然保護奨励金の対象は、山林等対象件数4件、対象面積87,484㎡で、昨年度と同数であった。 ・保存樹木の対象件数は、対象件数17件、対象本数149本（マツ・ケヤキ・サクラ等）であった。	・自然保護奨励金制度の対象面積 ・良好な生活環境の確保及び美観風致を維持するための補助本数
7	1-2 丘陵地や谷戸などの保全	⑥二宮せせらぎ公園におけるホタル観賞会の実施	ホタルの生態を知ることを通じ、水辺等の自然環境の保全に対する理解を得るため、二宮せせらぎ公園におけるホタルの観賞会を実施する。	都市部都市整備課	・園内の維持管理作業に農業等を使用せず、ホタルが生息できる環境を維持する。 ・ホタルの観賞会を実施する。	・ホタル観賞会を5月26日から6月1日までの7日間開催した。 ・来園者数が4,129人、ホタル数は874頭であった。	・ホタル出現数
8	1-3 水と親しめる葛川の再生	①公共下水道整備事業	公共下水道処理区域の一層の拡大を図るため、年次毎に効率的な汚水枝線の整備工事を実施する。	都市部下水道課	・事業計画区域内の下水道未普及地区で枝線工事を実施する。 ・山西（釜野）地区、二宮（谷戸）地区、百合が丘地区で整備を行う。	・山西（釜野）地区、百合が丘地区、二宮（谷戸）地区で枝線工事を実施した。 ・約0.6 kmの汚水管を整備。令和5年4月の供用区域が2.1ha増加した。	・整備面積

評価					課題		対応	
達成状況評価					評価割合(100)		・遊休荒廃農地の多くが谷戸や斜面地に存在しているため、担い手の減少、農業者の高齢化及び鳥獣被害により耕作放棄地が増加する状況においては、農地の確保・有効利用を図ることが必要がある。	
R01 目標値 0.4ha/年	R02 目標値 0.4ha/年	R03 目標値 0.4ha/年	R04 目標値 0.4ha/年	達成状況 評価 50	事業内容 評価 50			
				×	×			
R01 実績値 0.28ha/年	R02 実績値 0ha/年	R03 実績値 0.06ha/年	R04 実績値 0.24ha/年	事業 達成率 60%	事業内容 達成率 100%			
				達成状況 評価(A) 30%	事業内容 評価(B) 50%			
R01 事業達成率 70%	R02 事業達成率 0%	R03 事業達成率 15%	R04 事業達成率 60%	総合評価(A)+(B)				
事業内容評価								
R01 事業内容評価	R02 事業内容評価	R03 事業内容評価	R04 事業内容評価	80%	B			
100%	100%	100%	100%					
達成状況評価					評価割合(100)			
R01 目標値 80,000㎡ 179本	R02 目標値 80,000㎡ 179本	R03 目標値 80,000㎡ 179本	R04 目標値 80,000㎡ 179本	達成状況 評価 75	事業内容 評価 25			
				×	×			
R01 実績値 87,484㎡ 155本	R02 実績値 87,484㎡ 155本	R03 実績値 87,484㎡ 149本	R04 実績値 87,484㎡ 149本	事業 達成率 92%	事業内容 達成率 80%			
				達成状況 評価(A) 69%	事業内容 評価(B) 20%			
R01 事業達成率 93%	R02 事業達成率 93%	R03 事業達成率 92%	R04 事業達成率 92%	総合評価(A)+(B)				
事業内容評価								
R01 事業内容評価	R02 事業内容評価	R03 事業内容評価	R04 事業内容評価	89%	B			
80%	80%	80%	80%					
達成状況評価					評価割合(100)		・今後も天然のホタルが自生できるよう、現状の維持管理形態を保持していくことが重要となっている。	
R01 目標値 1,500頭	R02 目標値 1,500頭	R03 目標値 1,500頭	R04 目標値 1,500頭	達成状況 評価 50	事業内容 評価 50			
				×	×			
R01 実績値 433頭	R02 実績値 490頭	R03 実績値 495頭	R04 実績値 874頭	事業 達成率 58%	事業内容 達成率 80%			
				達成状況 評価(A) 29%	事業内容 評価(B) 40%			
R01 事業達成率 29%	R02 事業達成率 33%	R03 事業達成率 33%	R04 事業達成率 58%	総合評価(A)+(B) コロナの影響あり				
事業内容評価								
R01 事業内容評価	R02 事業内容評価	R03 事業内容評価	R04 事業内容評価	69%	C			
80%	40%	80%	80%					
達成状況評価					評価割合(100)			
R01 目標値 410ha	R02 目標値 418ha	R03 目標値 425ha	R04 目標値 432ha	達成状況 評価 75	事業内容 評価 25			
				×	×			
R01 実績値 410ha	R02 実績値 414ha	R03 実績値 417ha	R04 実績値 419ha	事業 達成率 97%	事業内容 達成率 100%			
				達成状況 評価(A) 73%	事業内容 評価(B) 25%			
R01 事業達成率 100%	R02 事業達成率 99%	R03 事業達成率 98%	R04 事業達成率 97%	総合評価(A)+(B)				
事業内容評価								
R01 事業内容評価	R02 事業内容評価	R03 事業内容評価	R04 事業内容評価	98%	B			
100%	100%	100%	100%					
							・農地中間管理機構の利用意向等が表明された農地情報をとりまとめ、農地中間管理機構と連携して新規参入者や新たな担い手へのあっせんを図るとともに、二宮町遊休荒廃農地対策事業補助金の活用促進に努める。	

No.	基本 施策	取組み 事業等	事業内容	担当課	R04事業計画	R04事業実績	数値指標
9	1-3 水と親しめる葛川の再生	②下水道の普及促進	下水道への早期接続を図るため、排水設備設置に係る水洗化改造等奨励金支給、水洗化融資あっせん利子補給、下水道や汚水処理に関する情報発信による啓発を実施する。	都市部 下水道課	・水洗化奨励金支給や融資あっせん利子補給を実施する。 ・未接続世帯へ接続案内の戸別配布などによる動員を実施する。 ・ふるさとまつりに、(公財)県下水道公社と合同で、下水道接続PRブースを出展予定である。 ・広報紙へ啓発記事を掲載する。 ※水洗化率＝接続済人口／処理区域内人口	・水洗化奨励金58件（1,147千円）、利子補給6人(約7千円)であった。 ・新規供用区域のほか、既区域の未接続家屋へ接続案内を配布(戸別387件)をした。 ・町広報に接続啓発記事の掲載をした。 ・水洗化率＝接続済人口/処理区域内人口 (R04)21,300/25,310 (R03)21,050/25,280 (R02)20,450/25,260 (R01)19,880/25,210 (H30)19,320/25,170	・水洗化率
10	1-3 水と親しめる葛川の再生	③家畜環境整備対策事業	衛生的な家畜の飼養環境整備を図るため、家畜用浄化槽の整備、修繕に対する補助を行うとともに衛生管理等の薬品を配布する。	都市部 産業振興課	・家畜用浄化槽からの放流水質を適正に保つための消毒薬品を配布するとともに、畜舎、糞処理施設の臭気検査及び浄化槽の水質検査を実施し、衛生的な家畜の飼養環境整備に努める。	・家畜用浄化槽からの放流水質を適正に保つための消毒薬品を配布するとともに、畜舎、糞処理施設の臭気検査及び浄化槽の水質検査を実施し、衛生的な家畜の飼養環境整備に努めた。	・環境整備指導件数 ※農家が1件なくなったため、R02から目標値を3件に変更
11	1-3 水と親しめる葛川の再生	④葛川水質調査の実施	家庭・事業所等の排水による河川の水質実態を把握するため、町内河川の水質を調査するとともに水質汚濁を未然に防止するため、さまざまな広報媒体を通じて調査結果を情報提供する。	生活環 境課	・水質測定を実施する。 ・水質測定結果をホームページで公表する。 ・公共下水道への接続動員を効果的に行っていくため、関係各課と連携し、公共下水道の整備による河川水質の改善効果について啓発を行う。また、水質が悪化してしまう原因などについても併せて周知する。	・水質測定（6地点×年4回）を実施した。 ・全24検体中、22検体が環境基準値を満たした。 ・水質測定結果をホームページで公表し、河川の水質状況を町民へ周知した。 ※実績値根拠：92%≒22検体÷24検体 ・公共下水道の整備による水質改善効果について、ホームページで公表した。 ・公共下水道新規共用区域のほか、既区域の未接続家屋へ接続案内を配布するとともに、町広報に接続啓発記事を掲載した。	・測定地点数に対する測定値が環境基準値内の地点数割合
12	1-3 水と親しめる葛川の再生	⑤葛川美化推進事業	葛川にごみを捨てにくい環境づくりをめざすため、ボランティア団体や県等と連携し、ごみの回収や水生生物の生息確認等を実施するとともに、清掃を行っている団体の活動や葛川の魅力発信を行う。	都市部 生活環境課	・葛川の水生生物を調査する。(葛川をきれいにする会で実施) ・葛川をきれいにする会の清掃活動を支援するため、河川ごみの回収を行う。 ・葛川をきれいにする会の活動について、広報紙やホームページで広く啓発を実施するとともに、環境団体と連携して、葛川に親しめるイベントを開催する。	・葛川の水生生物の生息調査が葛川をきれいにする会によって実施された。 ・全国水生生物調査の指標生物のうち、水質階級Ⅰにあたる生物を8種類確認した。	・水質階級Ⅰにあたる指標生物種類数

評価					課題		対応		
達成状況評価				評価割合(100)		・指標の接続率は短期での大幅な伸びは難しく、継続した啓発活動が必要である。 ・供用から年数が経っている地区の未接続家屋等への接続勧奨が必要である。		・広報紙への記事掲載の実施する。 ・案内配布による啓発活動について、新規供用開始区域や供用後の年数が浅い地区の早期接続を促すとともに、供用から年数が経過している区域全体の未接続家屋に対しても、継続して実施する。	
R01 目標値 77%	R02 目標値 78%	R03 目標値 79%	R04 目標値 80%	達成状況 評価 75	事業内容 評価 25				
				×	×				
R01 実績値 79%	R02 実績値 81%	R03 実績値 83%	R04 実績値 84%	事業 達成率 100%	事業内容 達成率 100%				
R01 事業達成率	R02 事業達成率	R03 事業達成率	R04 事業達成率	達成状況 評価(A) 75%	事業内容 評価(B) 25%				
事業内容評価				総合評価(A) + (B)					
R01 事業内容評価	R02 事業内容評価	R03 事業内容評価	R04 事業内容評価	100%	A				
達成状況評価				評価割合(100)					
R01 目標値 4件	R02 目標値 3件	R03 目標値 3件	R04 目標値 3件	達成状況 評価 25	事業内容 評価 75				
				×	×				
R01 実績値 3件	R02 実績値 3件	R03 実績値 3件	R04 実績値 3件	事業 達成率 100%	事業内容 達成率 100%				
R01 事業達成率	R02 事業達成率	R03 事業達成率	R04 事業達成率	達成状況 評価(A) 25%	事業内容 評価(B) 75%				
事業内容評価				総合評価(A) + (B)		・老朽化等により機能不全が見られる設備については早急に修繕する必要がある。		・「畜産環境整備巡回指導会（畜産会主催）」により、専門知識者による巡回審査等を適切に行うことで、設備の状況を把握するとともに、設備更新に活用できる町の「畜産環境整備対策事業補助金」の予算確保に努める。	
R01 事業内容評価	R02 事業内容評価	R03 事業内容評価	R04 事業内容評価	100%	A				
達成状況評価				評価割合(100)					
R01 目標値 100%	R02 目標値 100%	R03 目標値 100%	R04 目標値 100%	達成状況 評価 75	事業内容 評価 25				
				×	×				
R01 実績値 89%	R02 実績値 96%	R03 実績値 100%	R04 実績値 92%	事業 達成率 92%	事業内容 達成率 60%				
R01 事業達成率	R02 事業達成率	R03 事業達成率	R04 事業達成率	達成状況 評価(A) 69%	事業内容 評価(B) 15%				
事業内容評価				総合評価(A) + (B)					
R01 事業内容評価	R02 事業内容評価	R03 事業内容評価	R04 事業内容評価	89%	B				
達成状況評価				評価割合(100)					
R01 目標値 3種以上	R02 目標値 3種以上	R03 目標値 3種以上	R04 目標値 3種以上	達成状況 評価 50	事業内容 評価 50				
				×	×				
R01 実績値 4種	R02 実績値 3種	R03 実績値 6種	R04 実績値 8種	事業 達成率 100%	事業内容 達成率 80%				
R01 事業達成率	R02 事業達成率	R03 事業達成率	R04 事業達成率	達成状況 評価(A) 50%	事業内容 評価(B) 40%				
事業内容評価				総合評価(A) + (B)					
R01 事業内容評価	R02 事業内容評価	R03 事業内容評価	R04 事業内容評価	80%	B				
達成状況評価				評価割合(100)					
R01 目標値 3種以上	R02 目標値 3種以上	R03 目標値 3種以上	R04 目標値 3種以上	達成状況 評価 50	事業内容 評価 50				
				×	×				
R01 実績値 4種	R02 実績値 3種	R03 実績値 6種	R04 実績値 8種	事業 達成率 100%	事業内容 達成率 80%				
R01 事業達成率	R02 事業達成率	R03 事業達成率	R04 事業達成率	達成状況 評価(A) 50%	事業内容 評価(B) 40%				
事業内容評価				総合評価(A) + (B)		・道端などにポイ捨てされたごみは、まちの景観を損ねるだけでなく、雨風によって、河川に流れ込んでしまうため、河川水質に悪影響を与え、水生生物が生きづらい環境を作り出す一因になっている。		・葛川をきれいにする会の清掃活動を支援するため、河川ごみの回収を行うとともに、不法投棄防止などポイ捨て防止に関する啓発を実施する。	
R01 事業内容評価	R02 事業内容評価	R03 事業内容評価	R04 事業内容評価	80%	B				

No.	基本 施策	取組み 事業等	事業内容	担当課	R04事業計画	R04事業実績	数値指標
13	1-3 水と親しめる葛川の再生	⑥水資源に関する教育	水資源への関心を高めるため、水資源についての教育を学校等の学びの場で行う。	教育委員会 教育総務課	・水資源への関心を高めるため、水資源についての教育をダムの見学（遠足）や学習の場で行う。	・校外学習ですべての小学校で宮ヶ瀬ダムを見学した。	・実施予定回数に対する環境教育実施回数割合
14	1-4 二宮海岸の保全と魅力の向上	①海岸保全対策事業	海岸の保全を図るため、漁港区域内外において養浜工事を実施する。	都市部産業振興課 ・ 都市部都市整備課	・ 漁港区域内の養浜工事を実施する。	・ 漁港区域内の養浜工事を実施した。	・ 要望回数 ・ 実養浜量/計画養浜量
15	1-4 二宮海岸の保全と魅力の向上	②海岸清掃(かながわ海岸美化財団)の実施	海岸の保全を図るため、公益財団法人かながわ海岸美化財団の活動と連携し、海岸清掃によりごみを回収する。	都市部生活環境課	・ 海岸美化活動を行う美化財団に負担金を支出することで海岸の保全を図る。 ・ 県及び沿岸13市町と連携し、国補助金確保のための要望活動を行う。	・ 海岸美化活動を行う美化財団に負担金を支出することで海岸の保全を図った。 ・ 県及び沿岸13市町と連携し、国補助金の確保のため、要望活動を行った。 ・ 美化財団による海岸清掃が67回行われ、29tの海岸ごみが回収された。	・ 美化財団海岸ごみ回収量
16	1-4 二宮海岸の保全と魅力の向上	③釣り客、地引網等のごみの持ち帰りのマナー向上	海岸の保全を図るため、漁港区域の管理において、海岸利用客へ啓発看板を設置するとともに、誘発防止のため海岸来場者数が増加する時期に担当課職員による海岸清掃を行う。	都市部産業振興課	・ 新型コロナウイルスの感染拡大に伴い海岸のフェンスの閉鎖を行い、バーベキュー等の自粛について啓発していくとともに、ごみの持ち帰りについて、声掛けや看板(ポスター)の設置を行うことで、維持管理に努める。	・ 漁港区域内に海岸利用者への啓発看板を設置した。 ・ 漁港区域の見回りの際に、海岸利用者への声掛けを行った。	・ 清掃回数

評価					課題		対応	
達成状況評価				評価割合(100)		・ダムを含む水源地周辺地域への見学については、必ずしも毎年度実施できるわけではないと予想される。（校外学習の行先は学校で決めるため） ・「わたしたちの二宮」をデジタル化する際に、ダムや水源地に関する資料を充実させる。今後、水源地周辺の学校とオンラインで交流するなど学習活動の工夫を図ることも検討する。		
R01 目標値 100%	R02 目標値 100%	R03 目標値 100%	R04 目標値 100%	達成状況 評価 50	事業内容 評価 50			
				×	×			
R01 実績値 100%	R02 実績値 80%	R03 実績値 90%	R04 実績値 100%	事業 達成率 100%	事業内容 達成率 100%			
R01 事業達成率	R02 事業達成率	R03 事業達成率	R04 事業達成率	達成状況 評価(A) 50%	事業内容 評価(B) 50%			
100%	80%	90%	100%					
事業内容評価				総合評価(A) + (B)				
R01 事業内容評価	R02 事業内容評価	R03 事業内容評価	R04 事業内容評価	100%	A			
100%	100%	100%	100%					
達成状況評価				評価割合(100)		・養浜に適した土砂を安定的に確保する必要がある。 ・漁港区域内の浚渫土砂を確保できない場合には、海岸保全に影響のない土砂の確保に努める。		
R01 目標値 1回 100%	R02 目標値 1回 100%	R03 目標値 1回 100%	R04 目標値 1回 100%	達成状況 評価 25	事業内容 評価 75			
				×	×			
R01 実績値 1回 100%	R02 実績値 1回 100%	R03 実績値 1回 100%	R04 実績値 1回 100%	事業 達成率 100%	事業内容 達成率 100%			
R01 事業達成率	R02 事業達成率	R03 事業達成率	R04 事業達成率	達成状況 評価(A) 25%	事業内容 評価(B) 75%			
100%	100%	100%	100%					
事業内容評価				総合評価(A) + (B)				
R01 事業内容評価	R02 事業内容評価	R03 事業内容評価	R04 事業内容評価	100%	A			
100%	100%	100%	100%					
達成状況評価				評価割合(100)		・ポイ捨てや不法投棄されたごみが雨風等により河川に流れ込み、最終的には海へと流れ着いてしまうため、海岸沿岸部の河川下流部の地域だけでなく、河川上流部の地域も含めた協力が必要である。 ・台風など大雨が降った後には、ごみが海岸に大量に漂着するため、天候によって、ごみの回収量が大きく変わる。		
R01 目標値 22t	R02 目標値 22t	R03 目標値 22t	R04 目標値 22t	達成状況 評価 50	事業内容 評価 50			
				×	×			
R01 実績値 9t	R02 実績値 13t	R03 実績値 15t	R04 実績値 29t	事業 達成率 76%	事業内容 達成率 80%			
R01 事業達成率	R02 事業達成率	R03 事業達成率	R04 事業達成率	達成状況 評価(A) 38%	事業内容 評価(B) 40%			
100%	100%	100%	76%					
事業内容評価				総合評価(A) + (B)				
R01 事業内容評価	R02 事業内容評価	R03 事業内容評価	R04 事業内容評価	80%	B			
80%	80%	80%	80%					
達成状況評価				評価割合(100)		・町外も含めた海岸利用者に対し、周知を図る必要がある。 ・啓発看板の設置箇所や啓発内容を工夫し、海岸利用者のごみの持帰りを促す。 ・ホームページやフェイスブックに記事を掲載する。		
R01 目標値 10回	R02 目標値 10回	R03 目標値 10回	R04 目標値 10回	達成状況 評価 25	事業内容 評価 75			
				×	×			
R01 実績値 10回	R02 実績値 11回	R03 実績値 13回	R04 実績値 13回	事業 達成率 100%	事業内容 達成率 100%			
R01 事業達成率	R02 事業達成率	R03 事業達成率	R04 事業達成率	達成状況 評価(A) 25%	事業内容 評価(B) 75%			
100%	100%	100%	100%					
事業内容評価				総合評価(A) + (B)				
R01 事業内容評価	R02 事業内容評価	R03 事業内容評価	R04 事業内容評価	100%	A			
100%	100%	100%	100%					

No.	基本 施策	取組み 事業等	事業内容	担当課	R04事業計画	R04事業実績	数値指標
17	1-4 二宮海岸の保全と魅力の向上	④湘南にのみや海岸530キャンペーンの実施	海岸の保全の気運を高めるため、町民、ボランティア団体、各地区等の協力を得て、二宮海岸の一斉清掃を行う。	都市部生活環境課	・新型コロナウイルスの感染拡大防止策を講じながら、キャンペーンの開催を検討する。 ・プラスチックごみを分別し、回収量を公表することにより、プラスチックごみの適正処理やポイ捨て防止について、意識啓発を行う。 ・今後も、新たな実施方法等を検討するため、キャンペーン以外でも、町民、各関係団体と連携、協力して実施できる取組がないか検討していく。	・新型コロナウイルスの感染拡大防止策として、開催式を行わないなどの対策を講じながら、3年ぶりの開催となった。489名の方々に参加いただき、計285kg（うち約6割がプラスチックごみ）の海岸ごみを回収した。 ・プラスチックごみを分別し、回収量を公表することにより、プラスチックごみの適正処理やポイ捨て防止について、意識啓発を行った。	・海岸530キャンペーン参加者
18	1-4 二宮海岸の保全と魅力の向上	⑤松の保全事業	松を保全することにより、海岸の景観を保全するため、松くい虫被害予防のための薬剤を注入し、被害木を伐倒する。	都市部産業振興課	・松枯れ防止薬剤の注入及び松くい虫被害木の伐倒により、海岸周辺の松の保全に努める。	・松枯れ防止薬剤の注入を実施したほか、枯損樹木の伐倒を行った。	・薬剤注入本数（アンブル数）
19	1-4 二宮海岸の保全と魅力の向上	⑥梅沢海岸観光事業	海岸の魅力を上向するため、観光トイレの維持管理を行うとともに、地引網などを通じて町内外問わず多くの人に梅沢海岸の良さを知ってもらえるようPRを行う。	都市部産業振興課	・引き続きトイレの維持管理を実施し海岸の魅力向上を図りつつ、新型コロナウイルスの感染拡大状況を考慮し、海岸フェンス閉鎖等の対応をしていく。	・梅沢海岸のフェンスを令和元年度ぶりに解放した。 ・令和元年度よりも多い来場者数であった。	・夏季における梅沢海岸来場者数
20	1-5 良好な自然を象徴する動植物の保全	①自然環境を知るための講座の実施	自然環境への関心を高めるため、二宮の動植物について学び、自然と親しむ講座などを開催する。	教育委員会生涯学習課	・講座を1講座実施する予定である。	・二宮町の縄文時代の地質について学ぶ講座や、歴史や文化、史跡を巡る散策を実施した。その中で町の昔の自然環境の状況を知る機会を提供することができ、自然に関心を持ってもらうきっかけづくりとすることができた。	・講座数 ・参加人数

評価					課題		対応	
達成状況評価					評価割合(100)		・キャンペーンの参加者数は年々増加傾向にあったが、実施内容がマンネリ化、パターン化してしまっていることや、新型コロナウイルスの影響により3年ぶりの開催となったことから、参加人数が減少した。 ・新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、人が密集しないよう、開催方法を検討する必要がある。 ・プラスチックごみが大量に海へと流れ着いてしまっている。	
R01 目標値 570人以上	R02 目標値 570人以上	R03 目標値 570人以上	R04 目標値 570人以上	達成状況 評価 50	事業内容 評価 50			
				×	×			
R01 実績値 556人	R02 実績値 0人	R03 実績値 0人	R04 実績値 489人	事業 達成率 86%	事業内容 達成率 100%			
				達成状況 評価(A) 43%	事業内容 評価(B) 50%			
事業内容評価				総合評価(A)+(B) コロナの影響あり				
R01 事業内容評価	R02 事業内容評価	R03 事業内容評価	R04 事業内容評価	80%	80%			
80%	80%	100%	100%	93%	B			
達成状況評価					評価割合(100)		・地区保全森林には、民有地も含まれるが、日頃の維持管理や台風時の倒木の危険性等から、自主的な保全に理解を得る必要がある。	
R01 目標値 330アンフル	R02 目標値 330アンフル	R03 目標値 330アンフル	R04 目標値 330アンフル	達成状況 評価 50	事業内容 評価 50			
				×	×			
R01 実績値 330アンフル	R02 実績値 330アンフル	R03 実績値 112アンフル	R04 実績値 330アンフル	事業 達成率 100%	事業内容 達成率 100%			
				達成状況 評価(A) 50%	事業内容 評価(B) 50%			
事業内容評価				総合評価(A)+(B)				
R01 事業内容評価	R02 事業内容評価	R03 事業内容評価	R04 事業内容評価	100%	100%			
100%	100%	100%	100%	100%	A			
達成状況評価					評価割合(100)		・漁港区域の一部を駐車スペースとして利用しているが、数に限りがあることや自然環境への被害を配慮し、自家用車に頼らない来場が求められる。	
R01 目標値 1,700人	R02 目標値 1,700人	R03 目標値 1,700人	R04 目標値 1,700人	達成状況 評価 50	事業内容 評価 50			
				×	×			
R01 実績値 7,439人	R02 実績値 0人	R03 実績値 0人	R04 実績値 11,709人	事業 達成率 100%	事業内容 達成率 100%			
				達成状況 評価(A) 50%	事業内容 評価(B) 50%			
事業内容評価				総合評価(A)+(B)				
R01 事業内容評価	R02 事業内容評価	R03 事業内容評価	R04 事業内容評価	100%	100%			
100%	100%	100%	100%	100%	A			
達成状況評価					評価割合(100)		・自然環境をテーマにした講座はあまり参加者が多く集まらない傾向にある。	
R01 目標値 3講座 40人	R02 目標値 3講座 40人	R03 目標値 3講座 40人	R04 目標値 3講座 40人	達成状況 評価 50	事業内容 評価 50			
				×	×			
R01 実績値 1講座 10人	R02 実績値 0講座 0人	R03 実績値 1講座 0人	R04 実績値 2講座 42人	事業 達成率 86%	事業内容 達成率 40%			
				達成状況 評価(A) 43%	事業内容 評価(B) 20%			
事業内容評価				総合評価(A)+(B)				
R01 事業内容評価	R02 事業内容評価	R03 事業内容評価	R04 事業内容評価	80%	0%			
80%	0%	80%	40%	63%	C			

No.	基本 施策	取組み 事業等	事業内容	担当課	R04事業計画	R04事業実績	数値指標
21	1-5 良 好な自 然を象 徴する 動植物 の保全	②有害 鳥獣被 害対策 事業	人と自然が共生するまちづくりをめざすため、有害鳥獣の捕獲許可等、適正な管理を行うとともに、県、近隣市町村、農業者等と連携し、農業被害、生活被害を防止し、生態系を保持する。	都市部 生活環 境課 ・ 都 市部 産業振 興課	・ 鳥獣捕獲等許可申請書を適正に審査し、許可証を交付する。 ・ 必要に応じて有害鳥獣捕獲費及び檻の貸出しを行う。 ・ 有害鳥獣被害防止対策、並びに有害鳥獣遭遇対策に関する情報提供を行う。 ・ イノシシなどが市街地に出没した際に備え、迅速に対処できるよう関係機関と調整を図り、体制を整備する。	・ 鳥獣捕獲等許可申請書を適正に審査し、許可証を交付した。 ・ 大型檻を新たに購入し、檻の貸出し及び捕獲物の処理体制を整備した。 ・ 有害鳥獣被害防止対策、並びに有害鳥獣遭遇対策に関する情報提供を行った。	・ 有害鳥獣による農業被害件数 ・ 有害鳥獣による生活被害件数
22	2-1 リ デュースの促 進（ご みの発 生や排 出の抑 制）	①ごみ 減量化 推進事 業	ごみの発生を抑制するため、環境活動団体等との連携・協力によるイベントやさまざまな広報媒体を通じて、リデュース(将来ごみとなるようなものを無駄に買わないこと)に関する普及啓発を行う。	都市部 生活環 境課	・ 新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、イベントが中止となることも想定されるため、その他の啓発手段を積極的に活用しながら啓発を行う。	・ 生ごみ処理機（消滅型生ごみ処理機キエーロ等）の利用、食品ロス削減や適正分別などによるごみの排出抑制等に関する啓発をイベント13回、広報紙8回、ホームページ12回、SNS9回、チラシ4回(転入者向けにごみ排出抑制のチラシを窓口配布 1回含む)のほか、庁内インフォメーション3回の計50回行った。	・ 啓発回数
23	2-1 リ デュースの促 進（ご みの発 生や排 出の抑 制）	②マイ バック・マ イボ トル等 の利用 促進	ごみの発生を抑制するため、イベントやさまざまな広報媒体を通じて、「かながわプラごみゼロ宣言」でも謳われているマイバック・マイボトルの利用促進や二宮町商店連合協同組合と連携したレジ袋の削減等に関する普及啓発を行う。	都市部 生活環 境課	・ 3R推進月間（10月）を重点期間とし、通年で、広報紙やホームページ等を活用した積極的な啓発を行う。	・ 小中学生を対象に、「マイバッグ・マイボトル」をチャレンジ項目のひとつに組み入れた啓発物を夏休み・冬休み期間中の課題として配付するとともに、中学校へ環境出前授業を行った。また、レジ袋等のワンウェイプラ削減に関する啓発を環境イベント「エコフェスタにのみや」で1回、広報紙2回、ホームページ7回、SNS5回、チラシ6回（転入者向けにごみ排出抑制のチラシを窓口配布 1回含む）の計21回行った。	・ 啓発回数
24	2-1 リ デュースの促 進（ご みの発 生や排 出の抑 制）	③水分 もうひ としぼ り運動	ごみの排出を抑制するため、イベントやさまざまな広報媒体を通じて、生ごみ水分もうひとしぼりの実施に関する普及啓発を行うことで、可燃ごみに含まれる水分量を減らす。	都市部 生活環 境課	・ 新型コロナウイルスの感染拡大状況によっては、イベントが中止となることも想定されるため、その他の啓発手段を積極的に活用しながら啓発を行う。	・ ごみの組成分析調査を実施した結果、湿ベースで可燃ごみ中に含まれる水分は約61%（60.8%）であった。 ・ 水分もうひとしぼり運動に関する啓発を広報紙3回、ホームページ2回、イベント4回、チラシ（転入者向けにごみ排出抑制のチラシを窓口配布）1回の計10回行った。	・ 回収可燃ごみ量内の水分割合(水分率)

評価					課題		対応		
達成状況評価				評価割合(100)		・ 近年増加傾向にあるイノシシの生活被害が、農地での捕獲実績と呼応して増加傾向にある。 ・ 一色・緑が丘・百合が丘などの山林地と住宅地の境目においてはイノシシの目撃情報が多く寄せられている。 ・ イノシシの出没範囲が山林に面した市街地にだけでなく、市街地の中心部にも及んできているため、イノシシに遭遇した際の対処法について、町民に広く周知していく必要がある。	・ 町、農業者、地域住民が一体となってイノシシ被害対策を講じられるよう情報提供に努める。 ・ 庁内連絡会において、他課と連携を図りながら、効率的、効果的な対策を講じる。 ・ イノシシに遭遇した際の対処法などをホームページや広報紙などで周知していく。		
R01 目標値 10件以下 5件以下	R02 目標値 10件以下 5件以下	R03 目標値 10件以下 5件以下	R04 目標値 10件以下 5件以下	達成状況 評価 50	事業内容 評価 50				
R01 実績値 59件 17件	R02 実績値 19件 29件	R03 実績値 9件 62件	R04 実績値 28件 31件	×	×				
R01 事業達成率	R02 事業達成率	R03 事業達成率	R04 事業達成率	26%	80%				
23%	35%	54%	26%	達成状況 評価(A) 13%	事業内容 評価(B) 40%				
事業内容評価				総合評価(A) + (B)					
R01 事業内容評価	R02 事業内容評価	R03 事業内容評価	R04 事業内容評価	総合評価(A) + (B)					
100%	100%	100%	80%	53%	C				
達成状況評価				評価割合(100)				・ ごみ排出量の削減に向け、引き続き、イベントや広報媒体等を通じて啓発を図る必要がある。 ・ 多くの町民に「自分事」として行動してもらえよう、まずは誰でも簡単に取り組むことができるごみ減量化策を様々な機会を通じて効率的に啓発を行う必要がある。 ・ 事業者協力のもと、食品ロスの削減を図る必要がある。	・ 町民等にとって取り組みやすいごみ減量化策を公募し、啓発材料として活用する。 ・ ごみガイドブックを改訂し、分別索引品の拡大版を掲載する。 ・ 子ども食堂のお弁当に、食品ロス削減の啓発を行う。 ・ 今後の新型コロナウイルス感染拡大の状況によるが、引き続き、広報紙やホームページ、イベント等を通じて、誰でも簡単に取り組むことができるようなごみ減量化策の啓発に努める。
R01 目標値 4回以上	R02 目標値 4回以上	R03 目標値 4回以上	R04 目標値 4回以上	達成状況 評価 25	事業内容 評価 75				
R01 実績値 8回	R02 実績値 40回	R03 実績値 42回	R04 実績値 50回	×	×				
R01 事業達成率	R02 事業達成率	R03 事業達成率	R04 事業達成率	100%	100%				
100%	100%	100%	100%	達成状況 評価(A) 25%	事業内容 評価(B) 75%				
事業内容評価				総合評価(A) + (B)					
R01 事業内容評価	R02 事業内容評価	R03 事業内容評価	R04 事業内容評価	総合評価(A) + (B)					
80%	100%	100%	100%	100%	A				
達成状況評価				評価割合(100)		・ マイバッグやマイカゴについては当たり前前の行動として浸透していることが伺えるものの、マイボトルについては、マイバッグほどの浸透が伺えない。	・ ベットボトルtoペットボトルといった技術革新も進んできていることから、リデュースのみならず、3Rの視点で継続的に啓発を進める。 ・ 公共施設や学校内に設置した給水スポット（給水機）をHP、広報紙や小中学校での出前授業等で周知を行い利用促進を図る。		
R01 目標値 2回以上	R02 目標値 2回以上	R03 目標値 2回以上	R04 目標値 2回以上	達成状況 評価 50	事業内容 評価 50				
R01 実績値 2回	R02 実績値 10回	R03 実績値 18回	R04 実績値 21回	×	×				
R01 事業達成率	R02 事業達成率	R03 事業達成率	R04 事業達成率	100%	100%				
100%	100%	100%	100%	達成状況 評価(A) 50%	事業内容 評価(B) 50%				
事業内容評価				総合評価(A) + (B)					
R01 事業内容評価	R02 事業内容評価	R03 事業内容評価	R04 事業内容評価	総合評価(A) + (B)					
80%	100%	100%	100%	100%	A				
達成状況評価				評価割合(100)				・ ごみ排出量の削減に向け、各家庭で負担なく簡単にに取り組めるごみ減量化策について、引き続きイベントや広報媒体等を通じて啓発を図る必要がある。	・ ホームページを随時新しい情報や発信内容を変えるなどの更新を行う。 ・ 町民等にとって取り組みやすいごみ減量化策を地域の通いの場などのイベントの中で募集し、啓発材料として活用する。 ・ 引き続き、広報紙やホームページ、イベント等を通じて、誰でも簡単に取り組むことができるようなごみ減量化策の啓発に努める。
R01 目標値 50%	R02 目標値 50%	R03 目標値 50%	R04 目標値 50%	達成状況 評価 75	事業内容 評価 25				
R01 実績値 60%	R02 実績値 59.9%	R03 実績値 60.9%	R04 実績値 60.8%	×	×				
R01 事業達成率	R02 事業達成率	R03 事業達成率	R04 事業達成率	82%	100%				
80%	80%	78%	82%	達成状況 評価(A) 62%	事業内容 評価(B) 25%				
事業内容評価				総合評価(A) + (B)					
R01 事業内容評価	R02 事業内容評価	R03 事業内容評価	R04 事業内容評価	総合評価(A) + (B)					
80%	100%	100%	100%	87%	B				

No.	基本 施策	取組み 事業等	事業内容	担当課	R04事業計画	R04事業実績	数値指標
25	2-1 リ デュースの促進（ごみの発生や排出の抑制）	④食べ残しゼロ運動の推進	ごみの排出を抑制するため、イベントやさまざまな広報媒体を通じて、3010運動(宴会時の食べ切り)等の実施に関する普及啓発を行う。	都市部生活環境課	・エコフェスタにのみや及びふるさとまつりが新型コロナウイルス感染拡大防止により中止となったため、今後の状況を鑑みながらホームページや広報紙等で啓発を行う。	・食べ残しゼロ運動に関する啓発を町内事業者（スーパー）連携により1回、子ども食堂1回、広報紙5回、ホームページ4回、SNS1回の計12回行った。	・啓発回数
26	2-1 リ デュースの促進（ごみの発生や排出の抑制）	⑤ごみ減量化推進協議会による減量化の推進	さらなるごみの減量化方策を研究するため、ごみ減量化推進協議会を開催する。	都市部生活環境課	・ごみ減量化研究会を閉会したため、事業計画なし。	・本研究会と地域環境推進員の活動機能が重複していることを踏まえ、令和3年度をもって本研究会を閉会した。そのため、研究会の開催なし。	・協議会開催回数
27	2-2 リ ユースやリサイクルの促進	①リユースショップの利用促進	リユースを促進するため、イベントやさまざまな広報媒体を通じて、リユースショップの利用や中古品の再利用に関する普及啓発を行う。	都市部生活環境課	・3Rの積極的な啓発を行いつつ、新型コロナウイルスの感染拡大状況をみながら、リユースショップの利用に向けた積極的な啓発を行う。	・環境イベント「エコフェスタにのみや」で啓発を実施した。 ・小中学校向けの夏/冬休みの課題配付、保育園/幼稚園（別途、同日に保護者へ実施）、小学校/中学校へ環境出前授業を実施した。 ・上記に加え、3Rに関する啓発を広報紙2回、ホームページ7回、SNS6回のほか、チラシ(転入者向けにごみ排出抑制のチラシを窓口配布 1回含む)の計29回行った。	・リユースを促進するための啓発回数
28	2-2 リ ユースやリサイクルの促進	②グリーン購入の推進	リユースやリサイクルを促進するため、「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律」に基づき、環境への負担の少ない環境物品の調達を推進する。	都市部生活環境課	・二宮町環境物品等の調達の推進を図るための方針（グリーン購入の促進を図るための方針）を作成し、新年度ごとにホームページの更新と、役場内のインフォメーションに掲載する。 ・様々な広報媒体を活用し、啓発を行う。	・令和4年度版の、二宮町環境物品等の調達の推進を図るための方針（グリーン購入の促進を図るための方針）を作成し、ホームページと役場内のインフォメーションに掲載した。	・グリーン購入に関する啓発の回数

評価					課題		対応	
達成状況評価				評価割合(100)		・ごみ排出量の削減に向け、各家庭で負担なく簡単に取り組めるごみ減量化策について、引き続きイベントや広報媒体等を通じて啓発を図る必要がある。 ・事業者協力のもと、食品ロスの削減を図る必要がある。	・ホームページは、課題であった啓発メニューや内容の充実化を図るとともに、カテゴリ分けをする等、従来の形式を刷新し、抜本的な見直しを行ったため、今後も引き続き、新しい情報や発信内容を変えるなどの更新を行う。 ・事業者協力のもと、消費者である町民向けに食品ロス削減に関わる啓発を行うことを検討する。	
R01 目標値 4回以上	R02 目標値 4回以上	R03 目標値 4回以上	R04 目標値 4回以上	達成状況 評価 25	事業内容 評価 75			
				×	×			
R01 実績値 3回	R02 実績値 10回	R03 実績値 17回	R04 実績値 12回	事業 達成率 100%	事業内容 達成率 100%			
R01 事業達成率 75%	R02 事業達成率 100%	R03 事業達成率 100%	R04 事業達成率 100%	達成状況 評価(A) 25%	事業内容 評価(B) 75%			
事業内容評価				総合評価(A) + (B)				
R01 事業内容評価 80%	R02 事業内容評価 100%	R03 事業内容評価 100%	R04 事業内容評価 100%	100%	A			
達成状況評価				評価割合(100)				
R01 目標値 2回	R02 目標値 2回	R03 目標値 2回	R04 目標値 2回	達成状況 評価 25	事業内容 評価 75			
				×	×			
R01 実績値 1回	R02 実績値 0回	R03 実績値 1回	R04 実績値 0回	事業 達成率 0%	事業内容 達成率 0%			
R01 事業達成率 50%	R02 事業達成率 0%	R03 事業達成率 50%	R04 事業達成率 0%	達成状況 評価(A) 0%	事業内容 評価(B) 0%			
事業内容評価				総合評価(A) + (B)				
R01 事業内容評価 100%	R02 事業内容評価 80%	R03 事業内容評価 100%	R04 事業内容評価 0%	0%	－			
達成状況評価				評価割合(100)		・新型コロナウイルスの「5類」移行に伴い、積極的な周知に向けて取り組みを増やしていく必要がある。	・3Rの啓発を引き続き行い、リユースショップの利用等の啓発も行う。 ・社会福祉協議会などにおいて、リユースバザーなどの事業を展開していることから、連携しながら、より広範囲での啓発に努める。	
R01 目標値 4回	R02 目標値 4回	R03 目標値 4回	R04 目標値 4回	達成状況 評価 50	事業内容 評価 50			
				×	×			
R01 実績値 2回	R02 実績値 1回	R03 実績値 26回	R04 実績値 29回	事業 達成率 100%	事業内容 達成率 100%			
R01 事業達成率 50%	R02 事業達成率 25%	R03 事業達成率 100%	R04 事業達成率 100%	達成状況 評価(A) 50%	事業内容 評価(B) 50%			
事業内容評価				総合評価(A) + (B)				
R01 事業内容評価 80%	R02 事業内容評価 100%	R03 事業内容評価 100%	R04 事業内容評価 100%	100%	A			
達成状況評価				評価割合(100)				
R01 目標値 3回	R02 目標値 3回	R03 目標値 3回	R04 目標値 3回	達成状況 評価 25	事業内容 評価 75			
				×	×			
R01 実績値 2回	R02 実績値 1回	R03 実績値 2回	R04 実績値 2回	事業 達成率 67%	事業内容 達成率 80%			
R01 事業達成率 67%	R02 事業達成率 33%	R03 事業達成率 67%	R04 事業達成率 67%	達成状況 評価(A) 17%	事業内容 評価(B) 60%			
事業内容評価				総合評価(A) + (B)				
R01 事業内容評価 100%	R02 事業内容評価 60%	R03 事業内容評価 80%	R04 事業内容評価 80%	77%	B			

No.	基本 施策	取組み 事業等	事業内容	担当課	R04事業計画	R04事業実績	数値指標
29	2-2 リ ユース やリサ イクル の促進	③生ご み処理 機の導 入促進	リサイクルを促進するた め、イベントやさまざまな 広報媒体を通じて、生ごみ 処理機による堆肥の再生利 用に関する普及啓発を行う とともに、生ごみ処理機購 入費用の一部補助による導 入促進を図る。	都市部 生活環 境課	・通年で生ごみ処理機（非電動 型）の購入補助を行う。 ・庁舎入口付近へのキエーロの展 示を継続するとともに、環境イベ ントなどにも展示することによ り、効果的かつ効率的な啓発方法 を検討する。 ・キエーロ購入者にアンケート調 査を実施し、使用状況、感想や意 見を取りまとめることで、キエー ロの更なる普及促進につなげる。 ・ふれあい農園事業との事業間連 携をする。	・通年で生ごみ処理機の購入補助を 行った。 ・生ごみ処理機の案内チラシの刷新、 広報紙「環境づくりガイド」における 啓発を行った。 ・キエーロを促進するため、使用方法 等を紹介した動画を作成しホームペー ジ上で配信した。 ・生活環境課窓口においても申込手続 ができるよう二宮町商工会と調整の 上、申込書を作成し、申込受付を開始 した。	・生ごみ処理機導入補助件数
30	2-3 ご みの適 正な処 理・処 分の推 進	①二宮 町一般 廃棄物 処理基 本計画 の推進	町民の快適な生活環境づく りに寄与するため、「廃棄 物の処理及び清掃に関する 法律」に基づき、一般廃棄 物処理基本計画を推進す る。	都市部 生活環 境課	・本計画に基づき、ごみ減量化施 策を実施する。 ①1人1日当たりのごみ総排出量目 標値以下 ②目標値の資源化率以上 ③目標値の埋立率以下	・3つの計画目標のうち2つを達成し た。 ①1人1日当たりのごみ総排出量 790 (790.3) g 達成（目標値:798g） ②資源化率 32.7% 未達 ※基準の平成30年度実績値34.0%よ り増えていないため ③埋立率 61t 達成（目標値:70t以 下） ※基準の平成30年度実績値82tより 14.6%以上削減しているため	・一般廃棄物処理基本計画における 減量化の目標達成までの進捗率 ・一般廃棄物処理基本計画における 資源化の目標達成までの進捗率 一般廃棄物処理基本計画における最 終処分量の目標達成までの進捗率
31	2-3 ご みの適 正な処 理・処 分の推 進	②ごみ 置場散 乱防止 対策 (カラ スネッ ト配布)	カラス等によるごみ散乱を 防止するため、カラス対策 の方法等を周知するととも に、カラスネットを配布す る。	都市部 生活環 境課	・更新申請時に、カラスネットの 適切な利用方法について周知、啓 発を行う。 ・利用者の希望や利用世帯数など を確認しながら、状況に合った種 類のカラスネットを配布してい く。	・カラスの被害対策として、ファス ナー付きカラスネットの配布を行っ た。 ・利用者のニーズに合わせて、2種類 のカラスネットを配布した。 ・今後、カラスネットを選定する際の 参考データとするため、カラスネット の更新手続き時に、使用状況の聞き取 りを行い、破損箇所など確認すること で、壊れやすい箇所の把握を行った。	・カラスネット配布箇所に対するカ ラス被害防除割合
32	2-3 ご みの適 正な処 理・処 分の推 進	③し尿 処理事 業	し尿の衛生的処理により生 活環境を保全するため、し 尿処理施設の適正な維持管 理を行う。	都市部 生活環 境課	・令和元年11月よりし尿等下水道 投入施設として稼働し、施設稼働 に伴う実績も出来たため、予算内 の薬品や下水道使用料など、実績 量で予算計上し、維持管理する。 ・し尿等下水道投入施設の整備点 検計画に基づき維持管理する。 ・し尿等下水道投入施設の水質測 定、臭気測定、脱水汚泥分析測定 を実施する。 ・脱水汚泥運搬及び処理について も実績量を見ながら実施する。	・し尿処理事業は、実績や年間計画等 を基に、維持管理を行った。 ・整備点検計画に基づき、施設の維持 管理を実施した。 ・水質測定、臭気測定、脱水汚泥分析 測定を実施し、基準値内であった。 ・脱水汚泥運搬処理は、毎年処理量も 減少し、安定した運搬処理が出来てい る。	・し尿処理施設の水質、臭気、ダイ オキシン類測定における基準値適合 項目割合

評価					課題		対応						
達成状況評価				評価割合(100)		・キエーロの普及を促進するため、効果的な啓発方法を検討する必要がある。 ・キエーロの申込手続は二宮町商工会で行っているが、生活環境課窓口に直接申し込みの相談に来る方もいるため、町民サービスの低下が懸念される。		・ホームページで配信しているPR動画の周知、啓発チラシを作成した他、環境イベントにおいてのキエーロ展示を引き続き行う。					
R01 目標値 35件	R02 目標値 35件	R03 目標値 35件	R04 目標値 35件	達成状況 評価 50	事業内容 評価 50								
				×	×								
R01 実績値 24件	R02 実績値 46件	R03 実績値 39件	R04 実績値 36件	事業 達成率 100%	事業内容 達成率 80%								
R01 事業達成率	R02 事業達成率	R03 事業達成率	R04 事業達成率	達成状況 評価(A) 50%	事業内容 評価(B) 40%								
69%	100%	100%	100%										
事業内容評価				総合評価(A) + (B)									
R01 事業内容評価	R02 事業内容評価	R03 事業内容評価	R04 事業内容評価	80%	80%	100%	80%	90%	B				
達成状況評価				評価割合(100)		・資源化率が低下した。		・資源ごみの分別の徹底や食品ロスについて積極的な周知を行う。 ・引き続きごみ減量化策等について広報媒体を活用して積極的に啓発する。					
R01 目標値 100%	R02 目標値 100%	R03 目標値 100%	R04 目標値 100%	達成状況 評価 75	事業内容 評価 25								
100%	100%	100%	100%										
100%	100%	100%	100%	×	×								
R01 実績値 0	R02 実績値 0%	R03 実績値 0%	R04 実績値 100%	事業 達成率 67%	事業内容 達成率 100%								
0	100%	100%	0%										
0	0%	0%	100%	達成状況 評価(A) 50%	事業内容 評価(B) 25%								
R01 事業達成率	R02 事業達成率	R03 事業達成率	R04 事業達成率										
0%	33%	33%	67%										
事業内容評価				総合評価(A) + (B)		・カラスネットをしっかりと被せない（ごみがはみ出る、ネットに隙間ができる）、しっかりと重しを置かない等といったことが要因だと考えられるが、ネットを掛けても、ごみ置場がカラスに荒らされてしまうといった相談が寄せられる。 ・ファスナー付きカラスネットの利用により、カラスによる被害が減少した、無くなったという声を聞く一方で、利用者のファスナーの開閉時の強弱が原因で破損に繋がるといった相談が寄せられる。		・利用者一人ひとりがカラスネットを正しく利用するなど、基本的な対策を徹底してもらうよう、窓口などで説明していくとともに、被害状況や利用状況に合わせて、ファスナー付きカラスネットの利用を推進していく。 ・近隣自治体ではどのようなカラスネットを利用しているか、新たな商品が市場に出していないかなど、随時情報収集を行っていく。					
R01 事業内容評価	R02 事業内容評価	R03 事業内容評価	R04 事業内容評価	100%	100%					100%	100%	75%	B
達成状況評価				評価割合(100)						・し尿等下水道投入施設改修工事終了後、整備点検計画を作成し、計画に基づき維持管理をしているが、計画どおりに進まない部分もあるため、計画内容や費用についても毎年し再検討を行い、進める必要がある。		・計画や費用を再検討するにあたり、設備の状態や耐用年数などをもう一度点検で再確認し、実施時期の検討を行う。	
R01 目標値 100%	R02 目標値 100%	R03 目標値 100%	R04 目標値 100%	達成状況 評価 50	事業内容 評価 50								
				×	×								
R01 実績値 80%	R02 実績値 80%	R03 実績値 80%	R04 実績値 80%	事業 達成率 80%	事業内容 達成率 60%								
R01 事業達成率	R02 事業達成率	R03 事業達成率	R04 事業達成率	達成状況 評価(A) 40%	事業内容 評価(B) 30%								
80%	80%	80%	80%										
事業内容評価				総合評価(A) + (B)		・し尿等下水道投入施設改修工事終了後、整備点検計画を作成し、計画に基づき維持管理をしているが、計画どおりに進まない部分もあるため、計画内容や費用についても毎年し再検討を行い、進める必要がある。		・計画や費用を再検討するにあたり、設備の状態や耐用年数などをもう一度点検で再確認し、実施時期の検討を行う。					
R01 事業内容評価	R02 事業内容評価	R03 事業内容評価	R04 事業内容評価	80%	80%					80%	60%	70%	C
達成状況評価				評価割合(100)						・し尿等下水道投入施設改修工事終了後、整備点検計画を作成し、計画に基づき維持管理をしているが、計画どおりに進まない部分もあるため、計画内容や費用についても毎年し再検討を行い、進める必要がある。		・計画や費用を再検討するにあたり、設備の状態や耐用年数などをもう一度点検で再確認し、実施時期の検討を行う。	
R01 目標値 100%	R02 目標値 100%	R03 目標値 100%	R04 目標値 100%	達成状況 評価 75	事業内容 評価 25								
				×	×								
R01 実績値 100%	R02 実績値 100%	R03 実績値 100%	R04 実績値 100%	事業 達成率 100%	事業内容 達成率 100%								
R01 事業達成率	R02 事業達成率	R03 事業達成率	R04 事業達成率	達成状況 評価(A) 75%	事業内容 評価(B) 25%								
100%	100%	100%	100%										
事業内容評価				総合評価(A) + (B)		100%		A					
R01 事業内容評価	R02 事業内容評価	R03 事業内容評価	R04 事業内容評価	100%	100%					100%	100%		

No.	基本 施策	取組み 事業等	事業内容	担当課	R04事業計画	R04事業実績	数値指標
33	2-3 ご みの適 正な処 理・処 分の推 進	④最終 処分場 施設運 営事業	周辺の生活環境への影響を 防ぎ、環境汚染の未然防止 に努めるため、埋立てを終 了した最終処分場の適正な 維持管理を行う。	都市部 生活環 境課	・最終処分場の水質、臭気、ダイ オキシン類測定を実施する。 ・測定結果をホームページで公表 する。	・最終処分場の水質、臭気、ダイオ キシン類を測定した結果、全て環境基準 値内となり問題はなかった。 ・測定結果について、ホームページで 公表した。 ・修繕及び工事等は計画等に基づいて 実施した。	・最終処分場の水質、臭気、ダイオ キシン類測定における基準値適合項 目割合
34	2-3 ご みの適 正な処 理・処 分の推 進	⑤ごみ の処理・ 処分に 関する 教育	ごみの適正な処理・処分へ の関心を高めるため、ごみ の出し方や処理についての 教育を学校等の学びの場で 行う。	教育委 員会 教育総 務課	・ごみの適正な処理・処分への関 心を高めるため、ごみの出し方や 処理についての教育を学校や学習 の場で行う。	・ごみの適正な処理等についての授業 を実施予定回数（約14回）行った。 ・バッカー車に学校に来てもらい、ご みの処理や処分にに関する体験授業を 行った。	・実施予定回数に対する環境教育実 施回数割合
35	2-4 不 法投棄 防止の 推進	①不法 投棄防 止事業	計画的な大量ごみの山間投 棄等、犯罪性の高い不法投 棄を未然に防ぐため、県、 警察、ボランティア団体と 連携し、不法投棄監視及び 不法投棄物の撤去を行う。	都市部 生活環 境課	・環境保全パトロールを通年で週1 回実施する。 ・環境保全パトロールの実施によ り、町内を巡回監視し、不法投棄 の抑止を図る。 ・葛川をきれいにする会が清掃し た河川ごみを回収する。 ・不法投棄防止用の手製の啓発看 板を作成し、設置希望者に配布す る。	※環境保全パトロール（50回）＋廃棄 物不法投棄監視指導一斉取締り（4回） ・投棄物撤去と啓発看板設置により、 不法投棄防止を図った。 ・葛川をきれいにする会と連携し、河 川清掃ごみを回収した。	・不法投棄パトロール実施回数
36	2-4 不 法投棄 防止の 推進	②ごみ のポイ 捨て防 止事業	ごみの持ち帰りマナー向上 やポイ捨てを防止するた め、イベント等を通じて、 タバコやペットボトル等の ポイ捨て防止に関する普及 啓発を行う。	都市部 生活環 境課	・エコフェスタにのみや、ふるさ とまつり、湘南海岸530キャン ペーン及び大型店舗前で子どもた ちと協同実施している街頭美化 キャンペーンなどの町内イベント 時に、啓発物の展示や啓発活動を 実施する。 ・ポイ捨て防止用の手製の啓発看 板を作成し、設置希望者に配布す る。	・町内イベントが新型コロナウイルス の感染拡大に伴い中止となったため、 未実施となった。 ・ポイ捨ての被害で困っている方から 相談があった場合に、被害箇所へ啓発 看板を設置し、ポイ捨て防止のための 啓発を行った。	・ごみのポイ捨てを防止するための 啓発回数

評価					課題		対応	
達成状況評価					評価割合(100)		・今後、最終処分場を適切に管理するため、整備点検計画等を継続して作成し、それに基づいて修繕工事等を計画的に進めていくことが必要である。また、日常点検や測定委託等を適切に行い、施設管理を適切に行うことが必要である。	・整備点検計画を年度ごとに定め、経費の予算管理を行う。 ・日常点検を継続して実施し、緊急修繕が必要な箇所の把握に努め、施設の管理維持を行う。
R01 目標値 100%	R02 目標値 100%	R03 目標値 100%	R04 目標値 100%	達成状況 評価 75	事業内容 評価 25			
				×	×			
R01 実績値 100%	R02 実績値 100%	R03 実績値 100%	R04 実績値 100%	事業 達成率 100%	事業内容 達成率 100%			
R01 事業達成率	R02 事業達成率	R03 事業達成率	R04 事業達成率	達成状況 評価(A) 75%	事業内容 評価(B) 25%			
100%	100%	100%	100%					
事業内容評価				総合評価(A) + (B)				
R01 事業内容評価	R02 事業内容評価	R03 事業内容評価	R04 事業内容評価	100%	A			
100%	100%	100%	100%					
達成状況評価					評価割合(100)		・次年度以降も継続的に体験授業を実施可能か不透明である。	・「社会科教科書」を教材とした教育を行うとともに、ごみの処理や処分に関する体験授業を引き続き行えるようにする。
R01 目標値 100%	R02 目標値 100%	R03 目標値 100%	R04 目標値 100%	達成状況 評価 50	事業内容 評価 50			
				×	×			
R01 実績値 100%	R02 実績値 80%	R03 実績値 100%	R04 実績値 100%	事業 達成率 100%	事業内容 達成率 100%			
R01 事業達成率	R02 事業達成率	R03 事業達成率	R04 事業達成率	達成状況 評価(A) 50%	事業内容 評価(B) 50%			
100%	80%	100%	100%					
事業内容評価				総合評価(A) + (B)				
R01 事業内容評価	R02 事業内容評価	R03 事業内容評価	R04 事業内容評価	100%	A			
100%	100%	100%	100%					
達成状況評価					評価割合(100)		・環境保全パトロール時における、不法投棄物の回収量は年々減少傾向にあるものの、ごみ置場にごみが放置されたままになっている等の相談が、依然として多く寄せられている。	・環境保全パトロール時に、町内を巡回監視することにより、不法投棄の抑止、未然防止を図るとともに、不法投棄物の早期発見、早期回収により、更なる不法投棄の誘発を防ぐ。
R01 目標値 52回	R02 目標値 52回	R03 目標値 52回	R04 目標値 52回	達成状況 評価 50	事業内容 評価 50			
				×	×			
R01 実績値 54回	R02 実績値 52回	R03 実績値 51回	R04 実績値 54回	事業 達成率 100%	事業内容 達成率 60%			
R01 事業達成率	R02 事業達成率	R03 事業達成率	R04 事業達成率	達成状況 評価(A) 50%	事業内容 評価(B) 30%			
100%	100%	98%	100%					
事業内容評価				総合評価(A) + (B)				
R01 事業内容評価	R02 事業内容評価	R03 事業内容評価	R04 事業内容評価	80%	B			
100%	100%	100%	60%					
達成状況評価					評価割合(100)		・新型コロナウイルスの感染拡大状況に左右される。	・新型コロナウイルスの感染拡大状況に左右されるイベントに頼らない、地産地消の促進を検討する。
R01 目標値 5回	R02 目標値 5回	R03 目標値 5回	R04 目標値 5回	達成状況 評価 50	事業内容 評価 50			
				×	×			
R01 実績値 5回	R02 実績値 2回	R03 実績値 0回	R04 実績値 2回	事業 達成率 40%	事業内容 達成率 80%			
R01 事業達成率	R02 事業達成率	R03 事業達成率	R04 事業達成率	達成状況 評価(A) 20%	事業内容 評価(B) 40%			
100%	40%	0%	40%					
事業内容評価				総合評価(A) + (B) コロナの影響あり				
R01 事業内容評価	R02 事業内容評価	R03 事業内容評価	R04 事業内容評価	60%	C			
100%	100%	100%	80%					

No.	基本 施策	取組み 事業等	事業内容	担当課	R04事業計画	R04事業実績	数値指標
37	2-5 地 産地消 の促進	①地元 産品の 消費促 進	地産地消を促進するため、 朝市やイベントを通じて、 地元で採れた農産物や海産 物の購入を促進する。	都市部 産業振 興課	・新型コロナウイルスの感染拡大 防止の観点から、規模を縮小して の開催を予定している。 ・ふるさとまつりの来場および購 入促進を呼びかける。	・新型コロナウイルスの感染拡大防止 の観点から、規模を縮小して実施し た。	・湘南にのみやふるさとまつりの来 場者数
38	2-5 地 産地消 の促進	②地元 産品の 循環型 活用の 促進	地産地消を促進するため、 地元産品を消費して出た生 ごみの堆肥化と、その堆肥 の家庭菜園やふれあい農園 等での活用を推進する。	都市部 生活環 境課	・故障した大型生ごみ処理機の今 後の維持管理について検討を行 う。 ・ふれあい農園利用者に生ごみ処 理機購入補助制度について周知 し、堆肥の活用を推進する。	・学校給食センターに設置してある大 型生ごみ処理機は、故障により稼働し なかった。 ・ふれあい農園利用者に生ごみ処理機 購入費補助制度について周知した。	・大型生ごみ処理機の設置基数
39	3-1 省 資源・ 省エネ ルギー 活動の 促進 、 3-2 自然エ ネル ギーの 活用	①地球 温暖化 防止運 動の推 進	温室効果ガスの排出抑制を 推進するため、環境活動団 体等との連携・協力による イベントやさまざまな広報 媒体を通じて、エコドライ ブキャンペーンや再生可能 エネルギー等に関する情報 提供並びに普及啓発を行 う。	都市部 生活環 境課	・ふるさとまつりが開催できた場 合においても、引き続き代替事 業に取り組んでいく。 ・広報紙やホームページ、 Facebookなどでも、地球温暖化防 止のための啓発を実施し、町民の 意識向上へのきっかけを作ってい く。	・イベントの代替事業として、冬休みに 二宮町内の全小中学校の児童、生徒に、マ イエコ10宣言を実施した。マイエコ10宣 言の結果は、一色小学校10.1項目、二宮小 学校10.6項目、山西小学校10.1項目、二宮 中学校10.0項目、二宮西中学校9.5項目の 回答が得られた。※マイエコ10宣言：環境 に関わる16項目の中で、何項目実施できて いるか、または実施できそうかを回答する もの。	・地球温暖化防止に向けた啓発回数 ↓ ※低炭素社会の形成に係る唯一の重 点プランの指標が「啓発回数」で は、基本目標の達成状況を判断しに くいため、ふるさとまつりで実施し ている「マイエコ10宣言」の回収時 に「トライする項目」の他、「実効 している項目」を教えてもらい、 「温暖化防止行動の実行率」に指標 を変更。(マイエコ10宣言で、10 個以上選択した人の中で、5個以上 実践している人の割合)
40	3-1 省 資源・ 省エネ ルギー 活動の 促進 、 3-2 自然エ ネル ギーの 活用	②ムダ な電力 消費等 の節約 啓発	節電を促進するため、さま ざまな広報媒体や子ども向 けチラシの学校での配布を 通じて、節電に関する普及 啓発を行う。	都市部 生活環 境課	・引き続き省エネルギー月間の周 知やグリーンカーテンの設置等で 啓発を行う。 ・学校側と連携を図り、町内の小 中学校への夏休み、冬休みの宿題 や環境出前授業等を通し啓発を行 う。	・省エネルギー月間の周知を広報紙、 ホームページ、SNSで行った。 ・役場職員の意識向上と町民の行動促 進を図るため、庁舎内で「クールア ース・デー」を実施し、節電に関わる啓 発を行った。 ・グリーンカーテンの設置や県の0円 ソーラー、太陽光共同購入事業などに ついて、ホームページやチラシ等で周 知した。 ・未来づくり教室や、町内の小中学校 への夏休み、冬休みの宿題、保育園・ 幼稚園・小学校・中学校への出前授業 を通して、子どもを対象とした啓発を 行った。	・啓発回数

評価					課題		対応	
達成状況評価					評価割合(100)		・新型コロナウイルスの感染拡大状況に左右される。 ・新型コロナウイルスの感染拡大状況に左右されるイベントに頼らない、地産地消の促進を検討する。	
R01 目標値 10,000人	R02 目標値 10,000人	R03 目標値 10,000人	R04 目標値 10,000人	達成状況 評価 50	事業内容 評価 50			
R01 実績値 9,000人	R02 実績値 0人	R03 実績値 0人	R04 実績値 3,000人	×	×			
				事業 達成率	事業内容 達成率			
R01 事業達成率	R02 事業達成率	R03 事業達成率	R04 事業達成率	30%	100%			
90%	0%	0%	30%	達成状況 評価(A)	事業内容 評価(B)			
事業内容評価				15%	50%			
R01 事業内容評価	R02 事業内容評価	R03 事業内容評価	R04 事業内容評価	総合評価(A)+(B) コロナの影響あり				
100%	100%	100%	100%	65%	C			
達成状況評価					評価割合(100)		・地産地消の促進により町内での循環につながる取組になっているか、また、事業間、地域間連携を図り、生ごみリサイクルチェーンの形成に取り組んでいるか検討が必要である。	
R01 目標値 1基	R02 目標値 1基	R03 目標値 1基	R04 目標値 1基	達成状況 評価 25	事業内容 評価 75			
R01 実績値 1基	R02 実績値 1基	R03 実績値 0基	R04 実績値 0基	×	×			
				事業 達成率	事業内容 達成率			
R01 事業達成率	R02 事業達成率	R03 事業達成率	R04 事業達成率	0%	80%			
100%	100%	0%	0%	達成状況 評価(A)	事業内容 評価(B)			
事業内容評価				0%	60%			
R01 事業内容評価	R02 事業内容評価	R03 事業内容評価	R04 事業内容評価	総合評価(A)+(B)				
20%	40%	40%	80%	60%	C			
達成状況評価					評価割合(100)		・新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、ふるさとまつりが開催できていない。	
R01 目標値 100%	R02 目標値 100%	R03 目標値 100%	R04 目標値 100%	達成状況 評価 25	事業内容 評価 75			
R01 実績値 66%	R02 実績値 0%	R03 実績値 0%	R04 実績値 0%	×	×			
				事業 達成率	事業内容 達成率			
R01 事業達成率	R02 事業達成率	R03 事業達成率	R04 事業達成率	0%	100%			
66%	0%	0%	0%	達成状況 評価(A)	事業内容 評価(B)			
事業内容評価				0%	75%			
R01 事業内容評価	R02 事業内容評価	R03 事業内容評価	R04 事業内容評価	総合評価(A)+(B) コロナの影響あり				
100%	100%	100%	100%	75%	B			
達成状況評価					評価割合(100)		・地球温暖化対策（気候変動対策）については、子どもの頃から意識付けていくことが重要となるため、学校での環境教育等に、継続して力を入れていく必要がある。	
R01 目標値 3回	R02 目標値 3回	R03 目標値 3回	R04 目標値 3回	達成状況 評価 50	事業内容 評価 50			
R01 実績値 4回	R02 実績値 12回	R03 実績値 20回	R04 実績値 25回	×	×			
				事業 達成率	事業内容 達成率			
R01 事業達成率	R02 事業達成率	R03 事業達成率	R04 事業達成率	100%	100%			
100%	100%	100%	100%	達成状況 評価(A)	事業内容 評価(B)			
事業内容評価				50%	50%			
R01 事業内容評価	R02 事業内容評価	R03 事業内容評価	R04 事業内容評価	総合評価(A)+(B)				
100%	100%	100%	100%	100%	A			
達成状況評価					評価割合(100)		・町内の小中学校への夏休み、冬休みの宿題や、未来づくり教室、環境出前授業などを通して、引き続き学校側と連携を図りながら啓発を行っていく。 ・広報紙や子ども達に配布するプリント等に、ホームページの二次元コードを付けるなど、継続して気付きや学びにつながるよう工夫を重ねていく。	
R01 目標値 3回	R02 目標値 3回	R03 目標値 3回	R04 目標値 3回	達成状況 評価 50	事業内容 評価 50			
R01 実績値 4回	R02 実績値 12回	R03 実績値 20回	R04 実績値 25回	×	×			
				事業 達成率	事業内容 達成率			
R01 事業達成率	R02 事業達成率	R03 事業達成率	R04 事業達成率	100%	100%			
100%	100%	100%	100%	達成状況 評価(A)	事業内容 評価(B)			
事業内容評価				50%	50%			
R01 事業内容評価	R02 事業内容評価	R03 事業内容評価	R04 事業内容評価	総合評価(A)+(B)				
100%	100%	100%	100%	100%	A			

No.	基本 施策	取組み 事業等	事業内容	担当課	R04事業計画	R04事業実績	数値指標
41	3-1 省 資源・ 省エネ ルギー 活動の 促進 、 3-2 自然エ ネル ギーの 活用	③エコ カーの 導入 (電気 自動車 等導入 検討) 事業	職員の公用車利用による環 境への負荷を軽減するた め、「二宮町地球温暖化対 策実行計画(事務事業編)」 に基づき、公用車の買替え 等の際は、低燃費車や電気 自動車等のエコカーを導入 する。	政策総 務部 財務課	・平成30年度の排出基準を満たす 車両を3台、平成30年度基準排出ガ ス規制50%低減レベル認定車を2 台導入する。	・入札の結果、現在使用している1台の ダイナを再リースし、継続して使用し た。 ・新規リースで平成27年度燃費基準 25%向上達成車を2台、15%向上達成 車を2台導入した。	・低燃費車や電気自動車等のエコ カー導入台数
42	3-1 省 資源・ 省エネ ルギー 活動の 促進 、 3-2 自然エ ネル ギーの 活用	④環境 負荷の 少ない 交通の 利用促 進	環境負荷の少ない交通手段 (公共交通)の利用を促進す るため、「にの♡バス」等 を通じて、啓発を行うと ともに、バス停毎の乗降実績等 を基に「にの♡バス」の見直 しを検討する。	政策総 務部 企画政 策課 ・ 都 市部 都市整 備課	・10月のルート改編で、ザ・ビッ グまで延伸することに伴い、ザ・ ビッグを巻き込んだ利用促進策を 実施する。 ・高齢者及び児童・園児を対象と した啓発活動に着手する。	・10月のルート改編(延伸)に際し、 バス停への椅子の設置などザ・ビッ グからの協力が得られた。 ・通いの場で約135名に啓発ができた。 ・243日運行、20,428人乗車、1日平均 乗車人数84人であった。	・にの♡バス利用によるCO ₂ 削減量
43	3-1 省 資源・ 省エネ ルギー 活動の 促進 、 3-2 自然エ ネル ギーの 活用	⑤駅前 駐輪場 の運営 (利用 者の利 便性向 上)	環境負荷の少ない交通手段 (自転車)の利用を促進す るため、駅周辺に整備した 自転車駐輪場を利用者の利 便性に配慮して運営する。	政策総 務部 防災安 全課	・電動自転車や多種多様な自転車 の駐車が可能となるよう、平置き 用駐輪スペースの拡大等を行い、 より多くのニーズに対応できるよ うにすることで、エコな移動手段 である自転車の利用を促進してい く。	・125cc以下の原動機付自転車が駐車 可能になったことに伴い、区画整備を 行った。	・自転車駐車場利用延べ台数(自転 車及び原付バイク)
44	3-1 省 資源・ 省エネ ルギー 活動の 促進 、 3-2 自然エ ネル ギーの 活用	⑥地球 温暖化 防止に 関する 教育	地球温暖化防止への関心を 高めるため、温暖化対策に ついての教育を学校等と連 携し、学びの場で行う。	都市部 生活環 境課	・町内の保育園、幼稚園、小学 校、中学校を対象に、環境出前授 業を実施する。 ・未来づくり教室等のイベントを 開催し、学校以外でも環境につ いて学ぶ場を設ける。 ・広報紙に前月号に関するクイズ を掲載し、町民へ啓発していく。 ・引き続き、環境イベント等に参 加してくれた子ども達へ、オリジ ナル缶バッジを配布する。	・夏休みに町内の小学生を対象とし た、工作を通して環境について楽し く学ぶ未来づくり教室を1回開催した。ま た、保育園・幼稚園・小学校・中学校 へ出前授業を8回行った。	・環境教育の実施回数

評価					課題		対応	
達成状況評価					評価割合(100)		・導入にあたり新型コロナウイルスの影響による自動車の生産量低下の可能性があり、今後のエコカー導入に影響が及ぶ可能性がある。 ・軽バン、軽トラなどは、クリーンエネルギー自動車への移行が難しい。 ・新車のエコカー調達が困難な場合は、短期の再リースを行う等の対応を検討する。	
R01 目標値 4台	R02 目標値 5台	R03 目標値 5台	R04 目標値 14台	達成状況 評価 75	事業内容 評価 25			
				×	×			
R01 実績値 4台	R02 実績値 7台	R03 実績値 2台	R04 実績値 13台	事業 達成率 93%	事業内容 達成率 100%			
R01 事業達成率	R02 事業達成率	R03 事業達成率	R04 事業達成率	達成状況 評価(A) 70%	事業内容 評価(B) 25%			
100%	100%	40%	93%					
事業内容評価								
R01 事業内容評価	R02 事業内容評価	R03 事業内容評価	R04 事業内容評価	総合評価(A) + (B)				
100%	100%	100%	100%	95%	B			
達成状況評価					評価割合(100)			
R01 目標値 15,512g	R02 目標値 15,512g	R03 目標値 15,512g	R04 目標値 15,512g	達成状況 評価 50	事業内容 評価 50			
				×	×			
R01 実績値 11,816g	R02 実績値 9,632g	R03 実績値 11,312g	R04 実績値 12,824g	事業 達成率 83%	事業内容 達成率 100%			
R01 事業達成率	R02 事業達成率	R03 事業達成率	R04 事業達成率	達成状況 評価(A) 41%	事業内容 評価(B) 50%			
76%	62%	73%	83%					
事業内容評価								
R01 事業内容評価	R02 事業内容評価	R03 事業内容評価	R04 事業内容評価	総合評価(A) + (B)				
80%	60%	60%	100%	91%	B			
達成状況評価					評価割合(100)		・無料駐輪場の利用者増加に伴い、駐輪場内のトラブルが増加している。 ・有料駐輪場については、照明や壁面に老朽化が見られる。 ・区画整備及び管理委託業者との連携を強化することにより、無料駐車場の治安維持を行う。 ・駐車場内外の錆防止剤及びLED照明の導入により、長期的に快適に利用できる駐車場を整備する。	
R01 目標値 92,000台	R02 目標値 92,000台	R03 目標値 92,000台	R04 目標値 92,000台	達成状況 評価 50	事業内容 評価 50			
				×	×			
R01 実績値 79,080台	R02 実績値 66,200台	R03 実績値 83,768台	R04 実績値 95,632台	事業 達成率 100%	事業内容 達成率 80%			
R01 事業達成率	R02 事業達成率	R03 事業達成率	R04 事業達成率	達成状況 評価(A) 50%	事業内容 評価(B) 40%			
86%	72%	91%	100%					
事業内容評価								
R01 事業内容評価	R02 事業内容評価	R03 事業内容評価	R04 事業内容評価	総合評価(A) + (B)				
100%	100%	80%	80%	90%	B			
達成状況評価					評価割合(100)			
R01 目標値 2回	R02 目標値 2回	R03 目標値 2回	R04 目標値 2回	達成状況 評価 50	事業内容 評価 50			
				×	×			
R01 実績値 2回	R02 実績値 1回	R03 実績値 3回	R04 実績値 9回	事業 達成率 100%	事業内容 達成率 100%			
R01 事業達成率	R02 事業達成率	R03 事業達成率	R04 事業達成率	達成状況 評価(A) 50%	事業内容 評価(B) 50%			
100%	50%	100%	100%					
事業内容評価								
R01 事業内容評価	R02 事業内容評価	R03 事業内容評価	R04 事業内容評価	総合評価(A) + (B)				
100%	100%	100%	100%	100%	A			

No.	基本 施策	取組み 事業等	事業内容	担当課	R04事業計画	R04事業実績	数値指標
45	3-3 緑 化や雨 水利用 などに よる環 境の安 全	①建築 物の緑 化の推 進	建物の温度上昇を抑制する ため、公共施設などの建物 に植物（グリーンカーテン） を設置するとともに、イベ ントやさまざまな広報媒体 を通じて、町民への普及 促進を図る。	都市部 生活環 境課	・引き続き町役場庁舎2階入口の2 箇所の花壇にグリーンカーテンの アーチを作り、啓発を行う。 ・グリーンカーテンで作ったゴー ヤは、町民センターの「ともし びショップなのはな」で料理を していただき、地産地消につい ても同時に啓発していく。 ・夏休みの子ども食堂のお弁 当には、役場で作ったゴーヤを 入れて提供してもらえるよう に調整する。	・町役場庁舎2階入口の2箇所の 花壇にグリーンカーテンを設 置し、昨年同様に、グリーン カーテンのアーチを作り啓 発を行った。 ・グリーンカーテンの成長記 録等を定期的にホームページ へ掲載し、啓発を行った。 ・夏休みの子ども食堂のお 弁当に、役場で作ったゴー ヤを入れて子ども達に提供 した。	・緑のカーテン設置箇所数
46	3-3 緑 化や雨 水利用 などに よる環 境の安 全	②開発 行為等 におけ る緑化 指導 （要 綱、指 導、条 例）	緑地面積を確保するため、 「二宮町の開発事業におけ る手続及び基準等に関する 条例」及び「二宮町緑の保 全及び緑化の推進に関する 要綱」に基づき、開発行為 完了後の緑化推進を指導 する。	都市部 都市整 備課	・「二宮町の開発事業におけ る手続及び基準等に関する 条例」に基づき、開発事業 事前協議書の提出者に対 して緑化の指導を行う。 ・緑化の促進のための整備 手法について検討していく。	・令和4年度の開発申請件 数は3件であり、すべての 案件を「二宮町の開発事業 における手続及び基準等 に関する条例」に基づき、 緑化の指導を行った。	・開発協議件数に対する指 導件数割合
47	3-3 緑 化や雨 水利用 などに よる環 境の安 全	③花 いっぱい 運動の 推進	町内の緑化及び町民の緑 化意識の高揚を図るため、 町内の公共施設等で花壇 やプランター等への花の 植栽を行う。	都市部 都市整 備課	・6月、11月に花苗を各所 に配布し、ゆめクラブ等 地域ボランティアによる 植栽を実施する。	・6月9日の実施結果は、 植栽箇所数23箇所で、マ リーゴールド1,474株、 ペゴニア1,546株を植 えた。 ・11月11日の実施結果 は、植栽箇所数23箇所 で、パンジー1,053株、 ビオラ1,053株、菜の花 500株を植えた。	・設置予定箇所に対する 花の植栽割合
48	3-4 環 境保全 による 安全な まちづ くり	①側溝 や集水 樹の補 修・清 掃（冠 水防 止）	集中豪雨時の冠水防止 対策により環境を保全 するため、町民等と連携 し、側溝や集水樹の補 修・清掃を行う。	都市部 生活環 境課 都市部 都市整 備課	・堆積の著しい道路側 溝は清掃を実施する。 また道路冠水の原因 の一因であるグレーチ ングの詰まりは、町 作業員にて上部清 掃を適宜実施し、 道路冠水を防止 する。	・業者での側溝清掃 (7件)、町作業員に よる側溝清掃やグ レーチング上部の 清掃等(78件)を 実施した。	・町民等と連携した側 溝や集水樹の補 修・清掃件数

評価					課題		対応	
達成状況評価				評価割合(100)		・多くの方にグリーンカーテンを意識してもらえよう、啓発を行う必要がある。 ・ホームページを開いた方が少しでも興味を持っていたけりよう、グリーンカーテンの成長記録を定期的に更新するだけでなく、設置個所へポップなどの掲示を行う。		
R01 目標値 2箇所	R02 目標値 2箇所	R03 目標値 2箇所	R04 目標値 2箇所	達成状況 評価 50	事業内容 評価 50			
				×	×			
R01 実績値 2箇所	R02 実績値 2箇所	R03 実績値 2箇所	R04 実績値 2箇所	事業 達成率 100%	事業内容 達成率 100%			
R01 事業達成率	R02 事業達成率	R03 事業達成率	R04 事業達成率	達成状況 評価(A) 50%	事業内容 評価(B) 50%			
100%	100%	100%	100%					
事業内容評価				総合評価(A) + (B)				
R01 事業内容評価	R02 事業内容評価	R03 事業内容評価	R04 事業内容評価	100%	A			
100%	100%	100%	100%					
達成状況評価				評価割合(100)		・緑化に関しては、開発協議の際に指導を行ない、完了時確認を行っているが、その後の維持管理は居住者となるため、緑化の維持管理について懸念される。		
R01 目標値 100%	R02 目標値 100%	R03 目標値 100%	R04 目標値 100%	達成状況 評価 75	事業内容 評価 25			
				×	×			
R01 実績値 100%	R02 実績値 100%	R03 実績値 100%	R04 実績値 100%	事業 達成率 100%	事業内容 達成率 60%			
R01 事業達成率	R02 事業達成率	R03 事業達成率	R04 事業達成率	達成状況 評価(A) 75%	事業内容 評価(B) 15%			
100%	100%	100%	100%					
事業内容評価				総合評価(A) + (B)				
R01 事業内容評価	R02 事業内容評価	R03 事業内容評価	R04 事業内容評価	90%	B			
40%	100%	60%	60%					
達成状況評価				評価割合(100)		・ゆめクラブや公園愛護会にご協力いただいているが、高齢化等により作業の実施が困難なケースが発生している。		
R01 目標値 100%	R02 目標値 100%	R03 目標値 100%	R04 目標値 100%	達成状況 評価 75	事業内容 評価 25			
				×	×			
R01 実績値 100%	R02 実績値 50%	R03 実績値 100%	R04 実績値 100%	事業 達成率 100%	事業内容 達成率 100%			
R01 事業達成率	R02 事業達成率	R03 事業達成率	R04 事業達成率	達成状況 評価(A) 75%	事業内容 評価(B) 25%			
100%	50%	100%	100%					
事業内容評価				総合評価(A) + (B)				
R01 事業内容評価	R02 事業内容評価	R03 事業内容評価	R04 事業内容評価	100%	A			
100%	100%	100%	100%					
達成状況評価				評価割合(100)		・町内全ての道路側溝を一齐に清掃することは困難であるため、これまでの対応経過や地区要望などの状況により、施工箇所を検討する必要がある。		
R01 目標値 50件	R02 目標値 50件	R03 目標値 50件	R04 目標値 50件	達成状況 評価 25	事業内容 評価 75			
				×	×			
R01 実績値 43件	R02 実績値 59件	R03 実績値 93件	R04 実績値 85件	事業 達成率 100%	事業内容 達成率 80%			
R01 事業達成率	R02 事業達成率	R03 事業達成率	R04 事業達成率	達成状況 評価(A) 25%	事業内容 評価(B) 60%			
86%	100%	100%	100%					
事業内容評価				総合評価(A) + (B)				
R01 事業内容評価	R02 事業内容評価	R03 事業内容評価	R04 事業内容評価	85%	B			
100%	80%	80%	80%					

No.	基本 施策	取組み 事業等	事業内容	担当課	R04事業計画	R04事業実績	数値指標
49	3-4 環 境保 全に よる 安全 なま ちづ くり	②雨水 浸透施 設設置 の指導	町内の自然環境の保全のため、「二宮町の開発事業における手続及び基準等に関する条例」に基づき、雨水浸透施設（屋根等に降った雨水を宅地内に浸透させる施設）の設置を指導する。	都市部 都市整 備課	・「二宮町の開発事業における手続及び基準等に関する条例」に基づき、雨水浸透施設の設置等、雨水流出抑制に対する手法について検討を行う。	・令和4年度の開発申請件数は3件であり、すべての案件について「二宮町の開発事業における手続及び基準等に関する条例」に基づき、排水の指導を行った。	・開発協議件数に対する指導件数割合
50	3-4 環 境保 全に よる 安全 なま ちづ くり	③狭あ い道路 等拡幅 整備事 業	町民の日常生活の利便増進及び災害時における安全を図るため、建築基準法第42条第2項等に基づく道路に対し、二宮町狭あい道路等拡幅整備要綱により、道路を整備する。	都市部 都市整 備課	・二宮町狭あい道路等拡幅整備要綱に基づき申請された案件の内、土地の所有権移転登記まで終了した箇所の工事を実施する。	・二宮町狭あい道路等拡幅整備要綱に基づき申請された案件の内、土地の所有権移転登記まで終了した箇所の工事を実施した。 ・令和4年度工事は15箇所で舗装工事等を実施した。	・二宮町狭あい道路等拡幅整備要綱に基づく申請に対しての工事実施率
51	3-5 快 適な生 活環境 の向上	①地域 美化活 動の推 進	地域美化活動の推進により快適な生活環境の向上を図るため、ごみ袋の配布、保険の加入等美化活動を行う個人・団体への支援を行う。	都市部 生活環 境課	・地域美化清掃活動に対し、ごみ袋の配布、ごみの回収、傷害保険などの手続きの支援を行う。	・地域美化清掃活動に対し、ごみ袋の配布、ごみの回収、傷害保険などの手続きを行った。 ・前年度に比べ、件数、参加人数ともに増加したが、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、活動を自粛した地域などもあり、目標値を達成することは出来なかった。	・地域美化清掃の件数 ・地域美化清掃の参加人数
52	3-5 快 適な生 活環境 の向上	②公害 防止対 策事業	公害の防止により快適な生活環境の向上を図るため、県、事業者等と連携し、町内各所で道路騒音や河川水質(健康項目)を測定するとともに、ホームページを通じて、測定結果を情報提供する。	都市部 生活環 境課	・騒音測定を実施する。 ・河川水質測定を実施する。 ・測定結果をホームページで公表する。	・騒音測定、河川水質測定を実施し、道路交通の騒音状況や河川の水質状況を把握した。 ・測定結果をホームページで公表した。 ・騒音測定については、全8検体（4地点×昼間・夜間）が環境基準値を満たした。 ・河川水質測定については、全24検体（6地点×年4回）中、2検体が環境基準値を超過した。	・騒音測定地点数に対する測定値が基準値内の地点数割合 ・河川水質測定値点数に対する測定値が基準値内の地点数割合

評価					課題		対応		
達成状況評価				評価割合(100)		・雨水の排水について宅地内浸透処理の指導を行っているが、集中豪雨や台風では全て処理されず、道路へ流出が懸念される。 ・宅地内浸透処理のほか側溝等の設置により開発地内での雨水流出抑制を指導していくとともに、想定外の降雨に対し、新たな手法や冠水対策を検討していく。			
R01 目標値 100%	R02 目標値 100%	R03 目標値 100%	R04 目標値 100%	達成状況 評価 75	事業内容 評価 25				
				×	×				
R01 実績値 100%	R02 実績値 100%	R03 実績値 100%	R04 実績値 100%	事業 達成率 100%	事業内容 達成率 100%				
R01 事業達成率 100%	R02 事業達成率 100%	R03 事業達成率 100%	R04 事業達成率 100%	達成状況 評価(A) 75%	事業内容 評価(B) 25%				
事業内容評価				総合評価(A) + (B)					
R01 事業内容評価 40%	R02 事業内容評価 100%	R03 事業内容評価 100%	R04 事業内容評価 100%	100%	A				
達成状況評価				評価割合(100)				・建築確認申請に伴う受動的な事業であり、事業の進捗も相手の都合により変わるため、実施箇所数も年度ごとにバラつきが生じる。 ・原則は当該年度で実施していくが、事業内容によっては2箇年度で計画し、提出された申請を適切に処理していく。	
R01 目標値 100%	R02 目標値 100%	R03 目標値 100%	R04 目標値 100%	達成状況 評価 75	事業内容 評価 25				
				×	×				
R01 実績値 100%	R02 実績値 100%	R03 実績値 100%	R04 実績値 100%	事業 達成率 100%	事業内容 達成率 100%				
R01 事業達成率 100%	R02 事業達成率 100%	R03 事業達成率 100%	R04 事業達成率 100%	達成状況 評価(A) 75%	事業内容 評価(B) 25%				
事業内容評価				総合評価(A) + (B)					
R01 事業内容評価 100%	R02 事業内容評価 100%	R03 事業内容評価 100%	R04 事業内容評価 100%	100%	A				
達成状況評価				評価割合(100)		・地域美化清掃の規模が大きくなり、回数が増えるほど、草葉の回収量も増えていくため、出来る限り枯らしてから出してもらう等の工夫が必要である。 ・新型コロナウイルス感染症の影響により、地域美化清掃の実施回数の減少、実施規模の縮小が見込まれる。			
R01 目標値 60件 6,900人	R02 目標値 60件 6,900人	R03 目標値 60件 6,900人	R04 目標値 60件 6,900人	達成状況 評価 50	事業内容 評価 50				
				×	×				
R01 実績値 53件 6,309人	R02 実績値 43件 3,285人	R03 実績値 55件 3,824人	R04 実績値 55件 5,385人	事業 達成率 85%	事業内容 達成率 80%				
R01 事業達成率 90%	R02 事業達成率 60%	R03 事業達成率 74%	R04 事業達成率 85%	達成状況 評価(A) 42%	事業内容 評価(B) 40%				
事業内容評価				総合評価(A) + (B) コロナの影響あり					
R01 事業内容評価 80%	R02 事業内容評価 80%	R03 事業内容評価 80%	R04 事業内容評価 80%	82%	B				
達成状況評価				評価割合(100)				・道路騒音測定では、今年度は環境基準値を超過した地点はなかったが、例年、交通量が多い路線で、環境基準値を超過してしまう地点が出てくる。 ・道路交通騒音測定、河川水質測定を継続的に実施し、測定結果を注視していくとともに、測定値が環境基準値を超過してしまった場合は、各関係機関と連携を図り、改善に向けた協議を行う。	
R01 目標値 100%	R02 目標値 100%	R03 目標値 100%	R04 目標値 100%	達成状況 評価 75	事業内容 評価 25				
				×	×				
R01 実績値 75% 92%	R02 実績値 100% 96%	R03 実績値 75% 100%	R04 実績値 100% 92%	事業 達成率 96%	事業内容 達成率 40%				
R01 事業達成率 84%	R02 事業達成率 98%	R03 事業達成率 88%	R04 事業達成率 96%	達成状況 評価(A) 72%	事業内容 評価(B) 10%				
事業内容評価				総合評価(A) + (B)					
R01 事業内容評価 60%	R02 事業内容評価 60%	R03 事業内容評価 60%	R04 事業内容評価 40%	82%	B				

No.	基本 施策	取組み 事業等	事業内容	担当課	R04事業計画	R04事業実績	数値指標
53	3-5 快 適な生 活環境 の向上	③屋外 燃焼行 為によ る被害 の防止	屋外燃焼行為による被害の 防止により快適な生活環境 の向上を図るため、「廃棄 物の処理及び清掃に関する 法律」及び「神奈川県生活 環境の保全等に関する条 例」に基づき、違反者に対 し燃焼行為の中止を指導す る。	都市部 生活環 境課	・廃棄物処理法及び県条例に違反 して屋外燃焼行為を行っている違 反者に指導を行い、燃焼行為を中 止させる。 ・廃棄物処理法及び県条例による 屋外燃焼行為の禁止に関する周知 啓発を広報紙等で行う。	・廃棄物処理法及び県条例に違反して 屋外燃焼行為を行っている違反者に指 導をおこない燃焼行為を中止させた。 ・廃棄物処理法及び県条例による屋外 燃焼行為の禁止に関する周知啓発を広 報紙及び町ホームページで行った。	・苦情件数に対する焼却行為の中止 件数割合

評価					課題		対応
達成状況評価				評価割合(100)		・例年、公害苦情件数の中でも、屋外燃焼行為に関する苦情件数の占める割合が、他の公害苦情に比べ、高くなっている。 ・苦情が入っても、既に屋外燃焼行為が終わってしまった後等、場所が特定できないことがある。	・屋外燃焼行為は法令違反となっているため、原因者に屋外燃焼行為を中止させ再度行わないよう指導を行い、再発防止に努める。 ・広報紙等で屋外燃焼行為の禁止に関する周知啓発を定期的に行う。
R01 目標値 100人	R02 目標値 100人	R03 目標値 100人	R04 目標値 100人	達成状況 評価 50	事業内容 評価 50		
				×	×		
R01 実績値 100人	R02 実績値 100人	R03 実績値 100人	R04 実績値 100人	事業 達成率 100%	事業内容 達成率 60%		
				達成状況 評価(A) 50%	事業内容 評価(B) 30%		
事業内容評価				総合評価(A) + (B)			
R01 事業内容評価	R02 事業内容評価	R03 事業内容評価	R04 事業内容評価				
60%	60%	60%	60%	80%	B		